

議 会 だより



小豆島町

No. 29

平成25年 8月 1日 発行



『軌跡 心をひとつに』

～池田中学校としては最後となる

こどもセンター・池田小・池田中合同運動会～

- 審議議案
5月臨時会・6月定例会について…… 2・3
- 一般質問
8名の議員が質問…………… 4
- 住民の声・まちの力 …………… 8

積極的に事業を展開

5月 臨時会

5月20日に第2回臨時会が開催され、専決処分承認議案2件と工事請負契約が1件、平成25年度補正予算が提出され、原案どおり承認、可決されました。

補正予算

一般会計(第1号)
追加補正予算額は、
6,744万8千円で、
補正後の予算総額は
80億6,744万8
千円となります。

今回の補正は、瀬戸内国際芸術祭を契機とした新しい町づくりの取り組みを実施する費用と、地域住民とアーティストとの関係をつなぎ、島独自の活動に発展させるための費用が主なものです。

総務費関係 瀬戸内国際芸術祭

推進事業
5,086万2千円
※主な内訳は下段参照

【中山地区】

・「小豆島の光」イベント 100万円



【福田地区】

・東海岸の文化ツーリズム事業 204万1千円



【醤の郷地区】

・旧醤油会館プロジェクト 414万5千円
・UmakiCamp (ウマキキャンプ) 事業 500万円
その他 506万1千円



【町民全体イベント】

・町内一斉花のまちづくり運動 49万2千円
・町民とアーティストとの協働イベント 300万円



【坂手地区】

・水神祭事業 300万円
・クマグスクプロジェクト※ 201万4千円



【その他費用】 作品警備費等 1,747万9千円
観光客動態調査委託等 500万円

※坂手観音寺の宿坊に芸術家の方が滞在して、作品制作を行う事業です。



知識・技術を鳥づくりに

○岡村美紀氏
芸術祭作品「小豆島縁起絵巻」の製作者
幅広い年代を対象にした「お絵かき教室」を開催したり、空家を活用した事業などを実施します。

地域おこし協力隊推進事業 1,130万円
協力隊員を3名増員(うち1名は臨時募集用)
※一人あたりの賃金・報酬 約176万円
○川宿田好見氏
鹿児島国際大学 国際文化研究科 研究員
石切丁場も含めた東瀬戸内文化圏の世界遺産登録を目指し、丁場の調査や保存管理計画の策定などを実施します。

工事名 安田ポンプ場
建築工事
契約金額 7,612万5千円
契約相手 (株)西崎組



安田ポンプ場工事現場

工事請負契約

教育費
三都地区に展示中
作品の修繕料等 212万円
福田小学校体育館にイス、テーブルを購入 216万6千円
福田小東側にある防火水槽の給水管敷替えなど 100万円

6月 定例会

6月定例会が、6月19日から20日までの会期2日間で開かれまし
た。

町長から平成25年度の一般会計・特別会計補正予算2件のほか、新規条例2件、条例改正3件、人事案件1件など合計10議案が提案され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

補正予算

一般会計(第2号)

追加補正予算額は、7,963万6千円で、補正後の予算総額は81億4,708万4千円となります。

今回の補正は、自治総合センターによるコミュニティ助成事業の支給決定に伴う支出や福田診療所の休診に伴う代替措置に要する費用、また、大学育英事業貸付金に当初予定を上回る申請があったことに伴う費用が主なものです。



修繕される安田地区の太鼓

総務費

コミュニティ助成事業 2,000万円

上地地区のコミュニティセンター建築に1,500万円、迎地、安田地区の太鼓台修繕に各250万円の助成決定があったため交付するものです。
(宝くじ助成事業)

地域防災組織

育成助成事業助成金 200万円

迎地地区の自主防災組織に対し避難器材や機材倉庫購入代を助成するものです。
(宝くじ助成事業)

民生費

グループホーム建設工事実施設計業務委託料 354万9千円

旧二生幼稚園を障害者用グループホームに改修するための実施設計業務委託料です。完成後は社会福祉法人「ひまわり福祉会」が事業運営を行います。

病院費

国民健康保険診療所事業特別会計繰出金 634万3千円

福田診療所の医者が緊急入院したため、代替措置として内海病院、老健うちのみ及び香川県地域医療支援センターから週3回の巡回診療を委託するため

の費用とブロック塀の修繕費用です。

農林水産業費

オリーブ生産拡大総合支援事業補助金 88万6千円

オリーブ生産拡大のための整備事業(防風施設、鳥獣防護柵など)への補助を申請し、採択された6社に対し支出するものです。



教育費

地域食育推進事業関係 35万円

「朝食で野菜を食べよう」という食育推進事業に係る経費です。

高校・大学育英事業貸付金 1,500万円

高校生5名、大学生等112名という当初見込みを上回る申請があったため、不足額を補正するものです。

内海学校給食センター増築工事 400万円

平成26年度からの中学校統合に伴い、給食センターの冷蔵庫スペースやメンテナンス用の床下ピットを増築する工事です。

条例制定

香大・神戸常盤大学の学生による教育合宿事業 132万円

現場の保育士と幼児教育を学ぶ学生との交流を通じお互いのスキルアップを図り、併せて人材確保のためのネットワークづくりを目的とした保育合宿事業を実施するものです。

条例改正

内海病院の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

病院経営健全化の一環として、県内他の病院と比べて低額となっている診断書作成料を他の病院並みに引き上げるものです。
その他の条例改正
小豆島町県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

人権擁護委員 再任に同意



中武義景氏 (安田)

人権擁護委員の中武義景氏は9月30日をもって任期満了となりますが、同氏を再任したいとの議案が出され、再任に同意しました。



中江 正 議員

買い物弱者への対策は

町「配送業一覧表などを作成し

利便性を図る」

質問 買い物弱者について、市町村の8割が対策が必要と農水省が発表した。

財政上の問題から小規模の自治体ほど実施率が低いとされ、全国1742の市町村にア

ンケート調査を行った結果、買い物対策が必要な理由の96%が高齢化、75%が地元小売業の廃業である。

対策としてはコミュニケーションバスや乗り合いタクシーへの支援、空き店舗の出店、運営支援、宅配や買い物代行支援が多く、民間事業者の業務委託補助が72%、市町村が実施する25%である。小豆島町の実態と課題は。

答弁 買い物弱者対策は必要であり、行政支援を実施している。民間事業者の取り組みとして宅配、移動販売を実施していると農水省に回答した。

また、通院や買い物時の交通確保は新病院を見据えて総合的に検討して、支援の実態やニーズ調査を行い準備をしている、必要な予算を確保したい。

宅配、移動販売は池田地区は4地域、内海は一部地域で地元商店が実施している。現場での受注電話、ネット受付宅配も予定している。

町内の販売店、取扱店や連絡先を記載した配達業一覧表を作成・配布を行い、買い物弱者の利便性を図りたい。



民間事業者が実施している移動販売車



森 崇 議員

新消防庁舎と労働者環境の整備について

町「必要な意見は言っていく」

質問 新消防庁舎は小豆広域事務組合が計画することだが、労働安全衛生法もあり「働く人から意見を聞く」ことが大切と思うが。

答弁 消防職員にとって働きやすい施設となるような設計は当然だ。必要な意見は述べていきたい。



新内海ダム 町民の悲願達成

町「復刻版に併せ、新しい冊子にしたい」

新内海ダム完成と49・51災害の「冊子作成」について

小豆島の取り組みべき「重い課題と住民参加」とは

質問 地球は「水の惑星」だが97・5%は海水で2・5%が淡水である。これを100%として私達が使える水は0・01%である。島の水問題は、人の命にかかわる大切な問題である。

その象徴が新内海ダムであり、竣工を心から喜びたい。災害や濁水を経験された方に執筆していただく冊子作りの経過は。

答弁 49災害と51災害の記録の復刻と当時経験された住民の方に執筆していただき、悲惨な経験と立ち直った町の姿を新しく冊子にしたい。

町「深刻な実情だが、住民と共に取り組む」

質問 企画部長は5月の町広報で離島振興を始め10項目の「容易ならざる壁」への決意を訴えている。住民との対話が不可欠では。

答弁 深刻な実情である。住民の皆さんと共に取り組みたい。職員に厳しい町長であるが全力投球し職場も守りたい。

地方公務員の給与引き下げは憲法違反

町「給与引き下げは考えていない」

質問 県でも賛成の市や町はなかった。憲法違反の賃金引き下げをすべきではないのでは。

答弁 国に従うべきだが給与は自治体が決める。職員給与引き下げは考えていない。

公共施設にLED照明を

町「投資効果の検討が必要」



浜口 勇 議員

質問 2年前の3月11日の大津波で福島県の原子力発電所が破壊されてから、電力消費への関心が国内で高まっている。最近、技術の進歩でLED照明が目されてきた。消費電力が少なく、寿命が長く発熱と紫外線が少なく、虫を寄せ

付けにくく、被照射物を傷めず、有毒な水銀を使わず、地球環境に優しく電力コストを大幅に削減するLED照明を公共施設に導入しては。

答弁 LED照明は長寿命、低電力消費であり、電力コスト、環境負荷に対して有用であると理解している。従って公共施設にLED照明を導入する方向性はそのとおりで結構と思っっている。しかしながら、急速な技術開

発で導入コストはやや低廉になってはいるが、蛍光灯と比べてまだ高価であり、公共施設への導入については投資効果の検討が必要である。

新しく建てる建物とか大規模に改修する場合に導入するのが一番効果的である。どの施設をLED化していくかの整備計画の策定が必要である。



公共施設の照明をLEDへ



柴田 初子 議員

質問 昨年12月、東京都調布市の小学校で給食を食べた女子児童が、食物アレルギーにより、血圧低下、意識障害などの急性症状をおこす。アナフィラキシーショックの疑いで死亡するという痛ましい事故があった。

小豆島町では食物アレルギーを持つ児童生徒に対して、どのような給食の実施を行っているのか、また教職員の対応力向上について、研修会を開くなどの対策は。

答弁 個々の成長にあわせて食物アレルギーを克服できるよう、保護者と給食センター栄養士が相談しながら実践している。

学校給食の

アレルギー対策は

町「対応はしている 再度研修会を開きたい」

アレルギー対応策として、年度の初めに保護者からアレルギーに関する調査票、対応依頼書、主治医見書を提出してもらい、学校生活管理表、アレルギー疾患用の表をもとにして、医師から適切に指示を受けている。学校給食センターでは、アレルギー対応給食を実施している園児、児童生徒には除去食および代替食などを行っている。

＊エビペンを所持している生徒について は、対応マニュアルを作成し、適



本当に怖い食物アレルギー

＊エビペン：アドレナリン自己注射薬



村上 久美 議員

養護学校の分校設置を

町「分校設置も含め特別支援教育の推進に取り組む」

質問 障害のある子供をもつ家族は長年からの切実な願いである養護学校の分校をつくってほしいとの声がある。小豆島は離島のため、通学や寄宿舎生活で週末、週明けの送迎は親子、家族の多大な負担は計り知れない。「小豆島町障害者福祉計画」の理念に基づくならば障害者（児）が地域社会の可能な限り近くにおいて利用可能なものにするのであり、小豆郡内に養護学校の分校を設置することだと思いが、いかがか。

また、公共の空き施設をグループホームに活用するようだが進捗状況は。

答弁 分校設置については、保護者、教育現場からも要望がある。県教育委員会と協議しながら分校設置を含め特別支援教育の推進に取り組む。グループホームの進捗は、旧二生幼稚園舎を改修し、個室で共同生活ができる施設にする。



中学生との交流を行う養護学校生徒(高松養護学校提供)

オゾン活用で安全なおいしい水の供給を

町「装置が高額であるが検討の余地はある」
質問 近年殿川ダムにアオコが発生し、カビ臭や不純物の給水があり住民からは、高い水道料金でおいしくない水では払えないとの声。

中山浄水場の更新が予定されているが、細菌やカビ等を塩素の50倍以上の殺菌力が

あるオゾン活用で浄水処理を。

答弁 活性炭の注入装置を考えているが、これで完全に効果が出るとは断定できない。オゾン処理はほとんどを処理できる。装置が高額であるが検討する余地はあると思う。



安井 信之 議員

6次産業化への課題は

町「町としてどう応援できるか考えたい」

皆さんをどう応援できるかについては、考えていきたい。
農地法の運用について、6次産業化を支援する形で運用がなされるべきだと考えている。しかしながら、現行の制度では、農業委員会が独立して判断するということになっていく。
農林水産省令で、耕作者が生産する農畜産物を製造、加工する施設であれば農業用施設であると定義されている。

※6次産業化：1次産業である農業が生産だけにとどまらず、それを原材料として加工食品の製造・販売を行うこと

新病院の施設配置は

町「関係者と相談しながら決定している」

質問 新病院の施設の専有面積は、どのような過程で計画しているのか。

答弁 新しい病院の施設の内容については、新病院長・2つの病院長・副院長・看護部長・看護師長など関係者の意見も聞き決定をしている。
医師や看護師、その他メディカルスタッフなど現場の方のご意見を伺っている。
設計者から提案されたその図面をたたき台として、外来、救急、病棟、薬剤、検査、放射線など16部門、両病院で構成する部会ごとに設計者を交え必要な面積や配置など協議をしている。

なお、策定中の実施計画も、部門ごとのヒアリングを行いながら作業を進めていく。



新病院イメージ図
(今後変更される予定があります)

寒霞溪での 太陽光パネル設置

町「極めて遺憾 環境省に対応を求める」



大川 新也 議員

質問 住民からの情報で、国立公園寒霞溪の中腹に太陽光パネル設置の建設が進んでいるという。町として情報の把握は。その対応は。

答弁 検討委員会で協議の結果、内海全域の幼保を集約し28年度開設を目標に建設する。もう少ししばらくご不便をおかけするが、ご理解いただきたい。



手狭な内海保育所

はならないことが起きている」と思う。環境大臣の許可がおりているが極めて遺憾。今後地元を預かる町として環境省に対応を求めたい。

内海保育所の 早急な改善を

町「幼保施設の 集約を目指す」

質問 内海保育所は24年度より入所児童数の急増で応急的措置で対応してきたが、このままの状態ではいいのか。児童のストレス、職員の福利厚生面等の早急な対応を。

防災行政無線は 大丈夫か

町「反省し、今後の改善に生かす」

質問 防災無線の3月誤報時、4月地震時。その後の状況報告等に疑問。今後の対応は。

答弁 防災無線の誤報、無報については、お詫びする。今後反省すべき点は反省し、得られた教訓は生かし、再発防止とともに改善していきたい。

(その他の質問)
・政策統括監とは何か。
・公民館への
・正職員配置は。
・職員の
・時間外勤務容認か。
・オリーブ油
・使用率公表は。
・健康情報管理
・健康モニターに
・オリーブ油提供を。
(全9問)



鍋谷真由美 議員

新内海ダムの安全性は

町「問題の発生する 可能性はない」

質問 新内海ダムは昨年12月試験湛水を始め、試験湛水途中の4月に竣工式が行われた。試験湛水で周辺に地すべりが多発した奈良の大滝ダムのような問題が起きる可能性はないのか。



試験湛水中の新内海ダム

男女共同参画の取り組みは

町「計画策定に早急に着手したい」

質問 事業の主たる部分のダム本体工事完了

答弁 町の管理職の女性比率は21・1%、審議会女性の登用率は17・1%。政府目標に向け積極的に取り組み、男女共同参画基本計画の策定には、早急に着手したい。

町長の 政治姿勢を問う

質問 今、憲法を変えようという危険な策動があるが、町長の平和への思いと、憲法を守る決意を問う。

また、町民のくらしと営業を守るためには、アベノミクスのような「投機とバブル」だのみの「景気浮揚」ではなく、家計を温め、所得と需要を増やすことこそ必要と考える。町長の見解は。

答弁 憲法については、コメントを差し控える。アベノミクスの成功を祈念している。



「福田がアジアの アート・プラットホームへ」

村本善登
(福田自治連合会会長)

福田地区は、昔から石材の産地として栄えてきました。しかしながら急速に進む少子高齢化の影響から、小学校が廃校となるなど、地域の元気が失われつつありました。そんな中、小豆島町や町議会、福武財団などの尽力により、瀬戸内国際芸術祭をきっかけとして旧福田小学校がアジアのアート・プラットホームに生まれ変わることになりました。

校舎では、アジアの7地域からアーティストが訪れ展示会を開催し、体育館では様々なシンポジウムが企画され、またその一部を改修して、アジア各国のメニューを提供するカフェレストランが展開されるなど、まさにア

ジアのアート・プラットホームが生まれようとしています。

地元としても地域を元気にできる絶好のチャンスと捉え、作品の制作協力やカフェレストランの運営などに積極的に関わっていきたいと考えています。

福田の歴史の中で、誰もが経験したことのないとても大きなプロジェクトですが、関係者の皆様のご支援を頂きながら地元がまずは汗をかき、福田の元気づくりを進めていきたいと考えています。



地域みんなで作品づくり



旧福田小学校校舎

まで15名、火・
4歳から大人
す。修練を行いま
に忠誠心を誓い
建設に邁進す
到して、理想郷
み相譲り協力一
条「同志相親し
み相譲り協力一
に忠誠心を誓い
す。修練を行いま
まで15名、火・



金剛禅総本山
少林寺小豆島道院



少林寺拳法修練の目的は、すべての人に生まれつき備わっている「良心と無限の可能性を秘めた種子」を努力して持続すること。

本当の強さとは、慈悲心と勇気を備えた人を一人でも多く育て、信頼のできる仲間を増やすこと。他人との心のふれあいの中で知的環世界を広め精神的指導者を目指す。知識は救済、無知は罪。信用より信頼、人間とは何かを魂で感じ取るように、信

木・土曜日7時から8時30分まで、安田馬場道場で練習をしています。学科・実技参加、見学いつでも可能です。

【連絡先・長松明男】
82-11850

編集後記

今年で最後となる第6回小豆島こどもセンター・池田小学校の運動会が5月に行われました。今年のテーマ「軌跡心をひとつに」を合言葉に、児童・生徒を始め関係者にとつて特別な思い出となる素晴らしい運動会でした。来年からは、こどもセンター・小学校を中心に地域の良さをいかした取り組みを期待するものです。池田中学校の生徒は来年度の統合に向けて交流を深めるため、6月に行われた「内中ピック」(生徒会を中心にした体育的行事)に参加しました。来年からは、新しい小豆島中学校の歴史を全校生徒でつくって欲しいと思います。ふるさとを愛し、心豊かで、たくましく未来に生きる生徒になることを期待します。

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL (0879) 75-1100 FAX (0879) 75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成25年8月1日 8